



松本まもる

県政レポート

苦境を乗り越え、反転攻勢で強靱な愛知づくりを目指します!

令和5年9月定例議会が、9月27日から10月19日までの会期で開かれ、総額158億余円の一般会計補正予算案を始め、条例の一部改正、人事案件など15の議案を集中的に審議し、可決成立させました。

今回の補正予算には、6月2日の大雨で被災した農業者への支援、愛知芸術文化センター及び県陶磁美術館の活性化を図る基本計画の策定、技能五輪全国大会・全国アビリンピックの3年連続開催に向けた取組、愛知の「休み方改革」を全国に発信し、日本全体の観光需要

平準化を促進する取組などが含まれていません。

予算以外の議案では、あいち森と緑づくり税条例の一部を改正し、森林・里山林や都市の緑の適正な整備・保全を、引き続き実施するための財源を確保するなどします。

また、「地方財政の充実・強化について」、「ギャンブル等依存症対策の強化について」含め5件の意見書を国に提出するとともに、令和4年度の決算を審議する2つの特別委員会が設置され、今後、集中的に審議がなされます。

政策提言書を知事に提出!

主な提言内容

I ポストコロナ・経済政策

- 1 新型コロナウイルス感染症を含めた感染症全体への危機管理体制の強化・推進
- 2 中小企業・小規模事業者に対する継続的な伴走支援の推進
- 3 外国人観光客の県内観光消費喚起に向けた取組の推進
- 4 Aichi-Startup戦略及び革新事業創造戦略の推進
- 5 SDGs 理念に基づく用地開発及び企業ニーズに対応した用地造成の推進

II 雇用・労働・環境政策

- 1 男女共同参画社会の実現
- 2 地球温暖化防止の取組推進及び環境・エネルギー分野の産業振興
- 3 循環型社会の形成に向けた取組の推進

III 医療・福祉・教育政策

- 1 少子化対策の推進
- 2 良好な教育環境の整備と教員の働き方改革の推進

IV 安全安心・暮らし政策

- 1 大規模自然災害に備えた社会資本整備の推進
- 2 交通事故防止対策の推進
- 3 農林基盤施設の災害対策・老朽化対策・予防保全の推進
- 4 差別のない、人権尊重の社会づくり

V 地域・行政改革政策

- 1 あいちDX 推進プラン2025 とICT 利活用の推進
- 2 第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会の推進
- 3 生産性の高い農業を実践するための農業イノベーションの推進



団の総意をもって知事に要望!

あいち民主県議団 代表質問から

(10月2日 本会議)



幹事長
天野 正基
(小牧市、5期)

1 eスポーツの振興について、どのように取り組んでいくのか?

【知事】 eスポーツは、性別や年齢障害の有無等に関わらず、誰もが参加できる魅力的なコンテンツとして人気が高まっている。また、サッカーや野球など、実際のスポーツの普及やPR、さらには、健康づくりや社会参加の促進など、様々な分野に活用が裾野が広がっている。まずは、多くの県民に、eスポーツを知り、実際に体験いただくことが重要なので、11月に愛知・岐阜で開催されるフォーラムイベント「ラリージャパン2023」や、来年2月にドルフィンズアリーナで開催する障害者スポーツ交流イベントなどの機会をとらえて、eスポーツが体験できるブースを設けるなど、普及・PRを行っていく。

2 大雨などの災害に際してのSNSをSNSを活用しているのか?

【知事】 本県では、現在、ウェブページ、X、YouTubeなどを用いて、災害に対する注意を促すとともに、SNSへ投稿された被害情報については愛知県防災情報システムで収集し、災害応急対策に役立てている。今後は、プッシュ型の通知で開封率も高い、県の「公式LINEアカウント」を新たに活用し、台風の接近に伴う早めの対策、河川の水位情報の入手方法などの情報を発信して、避難行動をとっていただけるよう努めていく。

3 保育施設における虐待等の防止について、どのように取り組んでいくのか?

【知事】 不適切保育を防止するためには、保育士の業務負担の軽減を図る

り、働きやすい職場環境の構築を行うことが重要である。そのため、1歳児に関して、保育士を厚く配置できるように県独自で支援するほか、保育士の指示の下、子どもの着替えや食事の世話、散歩中の安全確認などを行う職員の雇上げに係る経費を助成している。さらに、今年度からは、子どもの登園の確認やプールの監視など短時間の柔軟な人員配置にも対応できるように、助成を拡充した。また、経験豊富な保育士が保育施設を巡回して、若手保育士の悩みを聞き、子どもや保護者への対応について助言等を行う取組を推進している。こうした取組により、不適切保育を防止し、子どもの安全・安心な保育環境をしっかりと確保していく。

4 「校内フリースクール」の設置について、どのように取り組んでいくのか?

【知事】 不登校の数は、近年、特に中学校で急増しており、担任や支援員が配置され、学びの環境を整った「校内フリースクール」の設置を促進することは、子供の学びの場を確保す

るために重要である。県教育委員会では、今年度から尾張旭市立旭中学校と幸田町立北部中学校の2校に「校内フリースクール」を設置し、その効果を検証するモデル事業を開始している。9月15日現在、19人の生徒が「校内フリースクール」を利用しており、担任と支援員を配置して生徒の指導や支援に当たっている。教室に居づらい生徒が安心感をもつて自分のペースで学習に取り組んだり、長期間自宅から出ることができなかった生徒が登校できるようになったりと、効果が出てきている。今後は、この効果を県内の市町村に向けて発信し、全ての公立中学校において、不登校の子供たちの学びの場が確保できるよう取り組んでいく。



本会議の録画視聴はこちら

愛知県議会ホームページ <https://www.pref.aichi.jp/gikai/>

あいち民主県議団 一般質問から

スタートアップ支援と子育ての孤立化防止



谷口 知美 議員
(昭和区、5期)
スタートアップ支援拠点「STATION Ai」が

来年10月に昭和区に開業予定だが、すでにいる。また投資家や支援者等との出合いの場「ピッチイベント」も日本各地で開催されており、中には1万人を超える参加者のものもあるが、愛知県でのイベントは盛り上がりが見られないことから、資金調達

等の現状を質すとともに、スタートアップ支援としてイベントの誘致・開催を求めた。知事からは多様な交流の中からイノベーションが生まれるとして、イベント開催を実現していきたいとの回答があった。国の制度として「伴走型相談支援」が始まったが、相談のみならず、全ての子育て世帯の孤立化を防ぐ支援となるよう、アウトリーチ型を含めた支援の充実や保育士確保、民間との連携等を県に求めた。

エスカレーターへの安全利用の啓発について



松本 まもる 議員
(緑区、2期)
エスカレーターは様々な利用者が存在する中、利

用時に右側を空ける左側乗りがほとんどで、片側麻痺などに障害を持った方、松葉づえや白杖を使用した方など右側乗りの必要性があるにも関わらず、やむなく危険を抱えて左に移動している方々等の要望に応え、本年10月1日より名古屋市内で施行された「名古屋エスカレー

ターの安全な利用の促進に関する条例」が施行されたタイミングで本県からもエスカレーターの適正利用を県民に促すべきではないかと質問に県からは「あいち暮らしWEB」や定期発行している消費生活情報誌「あいち暮らし」等で理解の促進を図っていくとの回答を得た。他に「EVゴミ収集車の導入促進」「特定小型原動機付自転車の交通ルールの周知」について質問した。

全県立高校への防犯カメラ設置に向けて



藤原 聖 議員
(西尾市、1期)
本年、西尾市の防犯カメラ未設置

者侵入事故が発生し、生徒に被害が出た事例を紹介。防犯カメラを独自に設置している高校もあるが、限られた予算の中で購入・設置工事・維持管理を行うのは難しく普及が進んでおらず、全国調査では公立小・中・特別支援学校の設置率が60%を超える中、高校は46.1%と最も設置が遅れ

ている状況を指摘。質問により、県立高校の設置率が全国平均の半分以下の21.5%であることが明らかとなり、教育長からは「防犯カメラ設置は、不審者侵入を防止する有効な方策の一つで、設置校の状況も確認し、警察と連携して効果的な防犯対策を進めていく」と前向きな回答を得られた。今後は、県議団としても設置要望を行っていく。その他、夜間中学設置に向けた提言、外国人県民の高齢化への対策等について質問を行った。

豪雨災害への対応と今後に向けた対策



おおたけりえ 議員
(豊川市、3期)
6月2日の豪雨災害について広範

県建設局長は、公共土木被害について、箇所についても復旧が必要な箇所は全て県費で対応していくこと、佐奈川と善光寺川の河川整備計画について、豪雨の検証を踏まえて見直しを行うこと、今後の被害軽減のため、今回の浸水実績図を作成し公表

すること、内水ハザードマップを県内すべての市町が作成できるよう取り組むことを答弁。県農林水産局長は、農業者の営農継続を図るため、農業用機械や農業施設の修繕等に必要経費に対して支援する本県独自の制知事は、局地的豪雨の頻発化などを受け、現行の「第3次あいち地震対策アクションプラン」を風水害対策も盛り込んだ総合的な防災対策の行動計画としてリニューアルしていく、と答えた。

「ディスレクシア」児支援、一歩前へ



江原 史朗 議員
(南区、1期)
「発達性読み書き障がい(ディスレクシア)児支援

について質問しました。知的に障がいはないが、読み書きに障がいがある「発達性読み書き障害(ディスレクシア)」は、「早期発見・適切な支援」により学習の習熟度を高めることが可能となります。不登校などの問題が顕在化することで、支援につながるケースが多い現状に対し、小学校入

学時に行われる「就学時健診」に簡易検査を導入することで早期発見につながる仕組みづくりを提案しました。県教育長からは、来年度以降、教職員への専門研修を実施することで、早期発見・適切な支援体制づくりを行うとの回答がありました。また、県土の約4割を占める森林を、資源として活用するため「森林環境譲与税を活用した児童保育施設の木造化」や「林業従事者の確保・育成」について質問をしました。

子育て世帯の救世主！「孫休暇」導入を提案



阿部 洋祐 議員
(豊田市、1期)
子育てに母親の手助けを受けたという夫婦の割合が

6割に上っている現状と、定年年齢の引き上げにより今後は「孫を持つ現役労働者」が増加するとの予測から、祖父母世代の育児休暇・孫休暇が子育て世代のニーズ・時代の要望であると主張。また、祖父母世代にあたる上司や先輩が育児休暇を取ることで若手男性従業員の育児休業取得

への職場理解がさらに進むとし、先行事例として県職員への孫休暇制度の導入を提案。人事局長からは「現時点では職員から導入を求める声は上がっており、国や各都道府県との状況を注視している」と、今後の導入に含みを持たせる回答があった。この他、大学生を対象とした給付型奨学金制度の拡充や、災害時における福祉避難所の体制整備、さらには急増する自動車盗難の対策について、県行政を質した。

あいち民主県議団の 議員連盟活動 をご紹介します!

◆ 観光・地域振興 議連

全国知事会休み方改革プロジェクトチームの提言についてヒアリングを受けました。提言内容:①企業や個人単位で休日を柔軟に設定できる環境づくり②欧米と比べて低い水準にある有給休暇の取得促進③子どもと家庭と一緒に休める環境や仕組みづくりを提言しています。



◆ 多文化共生 議連

愛知県の多文化共生についての現状を佐々木菜々子前副知事より、技能実習生における特定技能制度の見直し概要と第4次あいち多文化共生推進プランの説明を受けた。特に特定技能制度の見直しは、増加される対象分野を注視していく。



◆ 健康と食 議連

ギャンブル依存症家族の会との意見交換会を開催し、民間支援団体の活動状況を伺いました。また、愛知県歯科医師連盟との意見交換会では、長寿社会に向けた口腔保健の重要性を学ぶとともに「歯の博物館」にて歯科医療のあゆみを視察させていただきました。



◆ 中小企業振興 議連

商店街の現状と課題について愛知県商店街振興組合連合会との懇談会を開催し、現在検討している、商業者等による地域貢献活動を推進する条例制定にかかる経緯や背景について伺い、県民の生活を支える小売・サービス業の現状を学びました。



◆ 介護 議連

名古屋市介護サービス事業者連絡研究会との意見交換会を開催し、介護現場の実態及び介護事業者が抱える課題についてヒアリングをさせていただきました。



◆ 私学振興・子育て支援 議連

愛知県学童保育連絡協議会事務局長との懇談会。現地視察として海陽中等教育学校、つくしクラブ(NPO法人岡崎がくどうの会)の概要説明をいただきました。また、愛知県私学協会より私立学校を持続的に運営するため適正化・支援を求めるための財政上の諸課題を伺いました。



◆ 子ども・若者 議連

保育の現場の方々からの要望をもとに「保育体制を整備するための意見書」を提出し、保育士確保の取組を進めています。また、愛知こどもホスピスプロジェクトから、生命に関わる病気や障害のある子どもとその家族のための施設の設立を目指す取組を伺いました。



◆ 農業 議連

11月にJA西三河で取組んでいるスマート農業圃場(ほじょう)及び(株)山田農園FARM&DOGSの土木工事業を母体とした農業法人が取組んでいる有機無農薬栽培の取組を視察予定。



◆ モビリティ・安心安全 議連

愛知県におけるラリー競技の開催状況について勉強会を実施。また新たに開催される(仮)ラリー三河湾の概要について説明を受けるとともに、WRCラリー・ジャパン開催による地域振興や交通安全など様々な波及効果について意見交換を行いました。



◆ GX(Green Transformation) 議連

革新事業創造戦略におけるGX関連の取組及びあいち地球温暖化防止戦略における、主として企業・事業者向けの取組についてそれぞれの所管課からヒアリングを受け、GXの基本的な知識と愛知県の取組を学びました。

